

稲含山

2011年11月6日
リーダー:饗庭 和重



稲含山山行記

天気予報で雨が日曜日からで、「何で!」という気持ち。雨の予定を考えていたところへ会長から「小幡」城下の散策資料。早速資料づくり。今年から職場のコピー機が使えなのでやむなくコンビニへ。資料代かかるなあ。

24名の参加は今年では多い参加に責任もずしと。春日部観光に「ドライバーさんは館山さんをお願いできれば」と青木さんに直談判。正解。

バスだったらこんな道行かないよ、という所でも垂れ木をバスにぶつけても登山者の気持ちを考えてかぐんぐん上へ。おかげで目的の「神の池園地」からのスタートができました。

雨具を持っての登山。幸い頂上では雨が止んで墨絵のような雲海の景色に山山が霞んで見え、「きれー!」の声が出て、ほ!!。雨天の山行だけに湿度が高く汗がだらだら。足の運びもゆっくり。呼吸もぜいぜい。病気をしたせいとかここまで体調が落ちていたとは。下山後、「今日はハイキング程度でしたね。」というある男性からの感想にガク!。甘楽の湯に入り予定を30分延ばす。館山さんに延長を言いに行くと、「出発は4時でなかったけ。」と配慮の言葉。珍しく帰りのバスでうとうと。おかげで春日部についたころはすっきり。春日部班も?千間台班に負けじとラーメン屋で反省会。ここでも会計を積極的に松浦さんが引き受けてくれました。

リーダーが何もかもやっていた頃と比べると、みんなそれぞれ分担して引き受けてくれるようになり、助かるようになったと同時に会の進だ

と思います。これも会長の理念と運営の成果だと思います。スリスリ(ゴマする音)

以前の私なら「こんなハイキング」と侮っていた山行が、今や目いっぱい山の山行となり、縦走などとてもないものになりつつある昨今、「引き際」の文字がチラホラ。入会当初のようにバスの片隅で(連れて行ってください)の会員だった頃が思い浮かんできました。この会は山行だけでなく、山登りを通して親睦を深め、情報文化の共有も目的としているので、留まっていただける次第です。

皆さん今後もよろしく願います。稲含山行お疲れ様でした。

〈リーダー 饗庭和重〉



墨絵のような景色!

栗駒の登山で少し自信がついたと思いましたが、いきなりの急登で膝はガクガク足は上がらない、もう駄目かなと思っていましたが、リーダーが立ち休憩を沢山入れてくれたので何とか頂上に立つ事が出来ました。本当に有難うございました。

ぜいぜいと荒い息をしながら紅葉の落ち葉を踏みしめ、時々見える木々の紅葉を楽しみ、頂上で見た墨絵のような景色は忘れられないでしょう! 日々体力は落ちるばかりで、予定時間通りに歩けず皆様に迷惑かけています。遊友の皆様との楽しい親睦から離れる事が出来ず頑張っている状態です。もう少し宜しくお願い致します。

鳴原さんの栗駒山のDVD 朝から二回見て感動しています。<西谷 栄子>

11月山行稲含山

11月山行の日、雨模様の天気予報「なにとぞ富岡下仁田地区は、雨が落ちない事を少しでも天気良いうように」と神仏に祈って?家をでた。バスで進むうち次第に天候は良い方向になってきた。山沿いの林道は25人乗りバスがやっと通れる幅で運転手の館山さんの腕まえは見事でした。紅葉はまあまあか、栗駒岳をあげたあとですが静かな山の紅葉もまた良いものでした。適度に岩場あり尾根ありで落ち葉踏みしめて1時間15分の登りでした。

山頂は360度展望ですが、ガスが山波に適度にかかりかえって幻想の高山気分を味わえて下山できました。昼が少し遅くなったけど、かんらの湯でくつろぎゆっくりビールも飲みながら落ちて着けて楽しみました。新会員三宅さんもがんばりました、皆様お疲れ様、饗庭リーダーお世話様でした。<藤井 一義>

流石!西上州

リーダーお疲れ様でした。

稲含山をweb等で調べてみると、山自体はたいした事ないが、登山口へ行くまでが大変...とのレポートが多々あり、参加者人数により中型バスになったら長い林道あるのかな?

と恐々としてました。結果はいつもの館山ドライバー&バスで助かりましたが、正直それでも怖かった...

そして、大したことないはずの山でしたが、確かに距離は然程ではなかったけれど、高度差で約300m。結構な急斜面が続くし樹木の間には剣呑な岩壁も垣間見され流石、西上州自分的には、侮りがたい手強い山でありました。(新会員さん、これに懲りずに引き続きのご参加を)ありがとうございました。<豊島 泰>



11月山行「稲含山」に参加して

今回の山は下仁田町の南東部、甘楽町との町境近くに位置する1370mの稲含山です。インド国王の姫君が、稲穂を密かに口に含んできて、もともとこの山に居た神を従えて住み着いたという稲含大明神が祀られている稲含神社が頂上付近にあることから山の名前が付いたとされる山です。6時15分に千間台を出発しました。富岡インターを降りて通行止め地点まではよかったです。その先はバスがやっと通れるほどの狭い道を進み神の池公園で下車し登山開始です。この地点の標高がおおよそ1000mですから370mを登る計算です。本日の天気予報は雨で今にも降ってきそうな空模様ではありましたが、まだ降っていませんでした。落ち葉を踏みしめながら山道を一の鳥居、二の鳥居、稲含神社、山頂へと登って行きました。先月行った栗駒山のような紅葉は望めませんが、部分的には紅葉を楽しむことができました。そして山頂に着いた時は比較的天気がよくて雲はあったものの360度の美しい眺望が楽しめました。荒船山はハッキリと見えました。浅間山は雲に覆われておりました。それほど高い山ではないのに眺めはかなり高い山からの眺めのような雄大さがありました。下山を始めてまもなくすると小雨が降ってきたので雨具を着けましたがなくても大丈夫な程度でした。下山してバスに乗り込むと雨がだんだん降ってきて甘楽町の「かんらの湯」に着いた頃には完全に雨の天候でした。今回は時間に余裕があったので温泉はのんびりと入浴ができ、ビールも十分に頂けました。この後のバスで日本酒を飲み、せんげん台に着いてまたいつもの反省会で食べて飲んで家に着いたのが8時半。もう雨は傘がいらぬほどの小降りになっておりました。饗庭リーダーはじめ皆様今回もありがとうございました。また来月も宜しくお願い致します。<戸邊 茂雄>

紅葉の 落ち葉に虫の 喰い穴
二枚葉の 幼もじも 紅葉か
切り株を 一面苔が 被いけり



初参加の稲含山

遊友ハイキングクラブの皆様お世話になりました。会員になり初の登山、楽しい1日が過ごせました。

天気が心配でしたが、山頂で見た荒船山が印象に残り、今度是非登ってみたいとなりました。12月の山行も楽しみにしています。これからも、よろしく願いいたします。<久保谷 実>

総会のご案内

- 日時：12月17日(土) 18時より
(開始時間が変更になりました)
 - 場所：春日部商工振興センター
(アクシス春日部)2階202号室
- ※終了後、当会場で小さな忘年会を予定しています。
※年会費をご用意下さい。

